

Soliton[®]

情報資産を保護する ゼロトラストサービス

 Soliton
OneGate

ソリトンワンゲート

IDとパスワードだけで業務システムを利用していませんか？

Soliton OneGateなら、パスワードの脆弱性を解決するデジタル証明書で、信頼できるユーザーとデバイスを素早く特定。ネットワーク認証からアプリケーション利用までの成りすましを防止し、企業の情報資産を保護します。



1 ID・認証管理の自動化を支援



クラウドID管理を自動化 デジタル証明書を簡単運用

クラウドID管理の自動化に対応。管理者はAD情報をメンテナンスするだけで、クラウドサービスのID情報は自動で同期されます。また、デジタル証明書の運用を支援する機能を搭載しています。

2 クラウドサービスをまとめて多要素認証



デジタル証明書+FIDO2で パスワードレス認証

Microsoft 365やG Suiteをはじめとする複数のクラウドサービスへのシングルサインオンと多要素認証を提供。クラウド上の情報資産へのアクセスを、信頼できるユーザーとデバイスに限定することができます。

3 オフィスWi-Fi / VPNを堅牢にする



強固なデジタル証明書認証を 簡単に導入

ゼロコンフィグ運用のNetAttest EPS-edgeを設置するだけで、OneGateが発行したデジタル証明書による強固なWi-Fi / VPN認証を実現します。クラウド管理型で導入・運用負荷もかかりません。

4 社内システムもパスワードレス

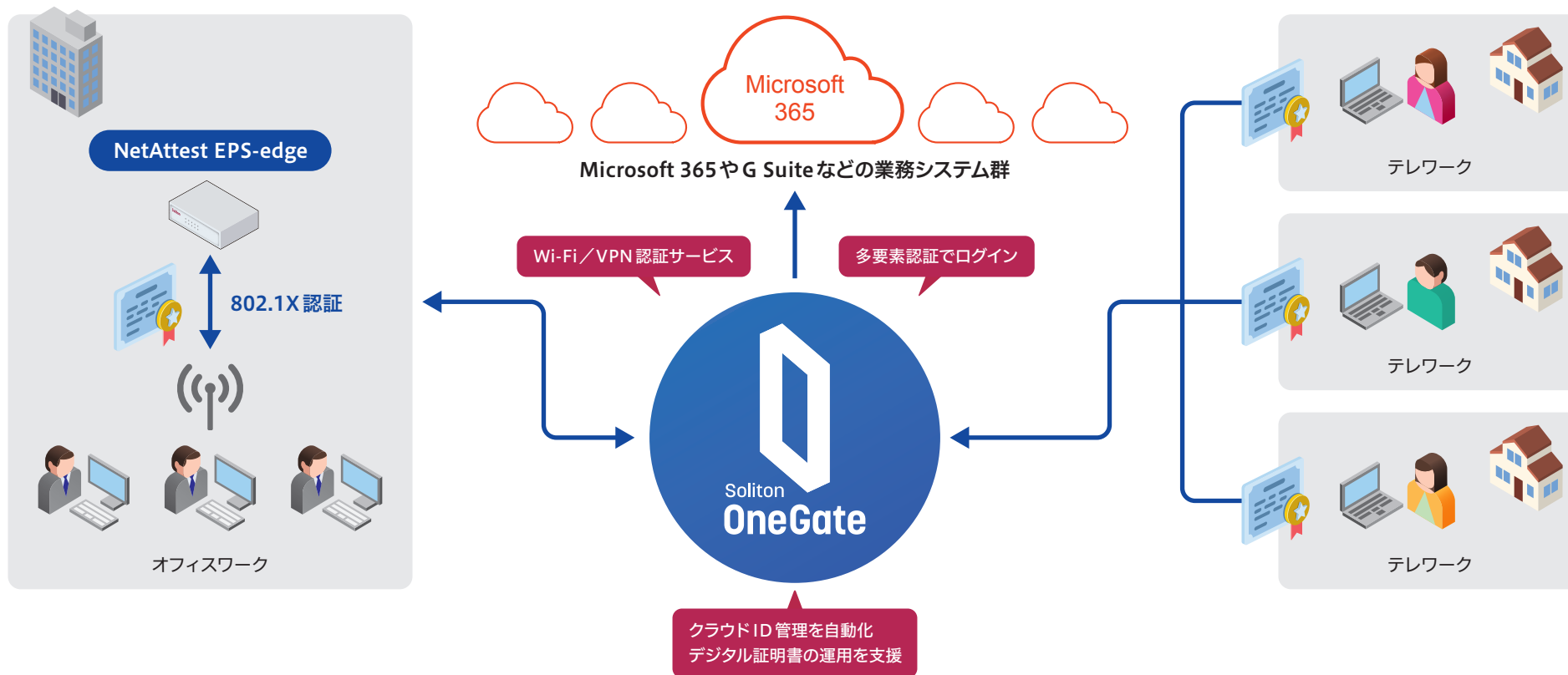


デジタル証明書対応 PCとスマホで動く代理認証アプリ

パスワード認証を実施している社内システムやスマホアプリには、デジタル証明書認証対応の代理認証アプリが、業務アプリケーションへのID・パスワードを代行送出。利用者をパスワード入力からの負担から解放します。

Soliton OneGateの出来ること

ネットワーク認証からアプリケーション利用まで、情報資産へのアクセスを **信頼できるユーザーとデバイスに限定します。**



昨今、ワンタイムパスワードやSMS認証の弱点をついたフィッシング攻撃の被害が増加しています。デジタル証明書を用いた公開鍵暗号方式は、利用端末が特定できる上、フィッシングによる認証情報詐取を防止できるといったメリットがあります。また正規の証明書を持たない攻撃者はログイン画面にたどり着けないため、ブルートフォース攻撃（総当たり攻撃）対策にも有効です。

Soliton OneGateの出来ることまとめ

プライベート認証局機能

- 1ユーザーにつき10デバイスまで証明書発行が可能
- 専用アプリSoliton KeyManagerで安全に証明書を配布
- ADアカウントで証明書発行、デバイス種別は自動記録し失効も簡単

SAMLシングルサインオン機能

- SAML認証により、複数のクラウドサービスへのシングルサインオンが可能
- 認証方式はデジタル証明書認証、ADパスワード認証、FIDO2生体認証に対応

IDプロビジョニング機能

- 主要なSaaSサービスへのIDプロビジョニングに対応
- 退職者IDなど不要なアカウントが残り続けることによる不要な課金やセキュリティリスクを防止

Wi-Fi / VPN 認証サービス

- ゼロコンフィグ運用のNetAttest EPS-edgeを設置するだけでネットワークセキュリティを手早く強化
- 有線 / 無線 LAN 認証 (EAP-TLS 認証)、VPN 認証 (PAP 認証) に対応

ユーザー情報管理機能

- ユーザー情報は、専用コネクタにより社内のActive Directoryと連携（ファイアウォールに外部からの通信を許可する穴あけ不要）
- グループ企業や海外拠点など複数ADとの連携にも対応

代理認証アプリ

- PCとスマホで動作する代理認証アプリSoliton PasswordManagerが既存の業務アプリケーションへのID・パスワードを代行送出
- 従来のサービスでは対応が出来なかったネイティブアプリもサポート